

品川区長 森澤 恭子 様

2025年度 予算要望

2024年11月

品川区議会日本維新の会

2024年11月20日

品川区長 森澤 恭子 様

品川区議会 日本維新の会

松本ときひろ

せらく真央

マイスクール利用者及び不登校児童・生徒への支援充実についての要望

本区では、不登校の児童・生徒数が増加している状況を受け、令和6年度は、マイスクール西大井の開設、全校での校内別室支援の実施、メタバース空間を活用した支援の提供が行われ、支援内容が拡充されつつあります。令和5年度決算特別委員会の質疑では、校内別室の全校実施によりマイスクール通室者が減少したとの報告があり、これらの支援による一定の効果を感じています。

一方で、家庭の変化にも目を向ける必要があります。特定非営利活動法人多様な学びプロジェクトの昨年の実態調査によると、不登校をきっかけに世帯年収が減少した家庭は4割に上り、また多くの家庭で食費、水道光熱費、学習費などの支出が増加したと回答しています。そして、不登校をきっかけに保護者の働き方が変わったとの声も多く寄せられています。

本区では、区立学校に通う小中学生の学校給食費が無償化され、補助教材費も無償化が始まりました。これは、日本国憲法第26条第2項に定められた義務教育の無償化の理念に沿う取り組みです。こうした理念は、マイスクールに通う子どもたちにも及ぶものといえ、給食費相当の補助や、すまいるスクールで夏季休暇中に導入された仕出し弁当を通室時に提供をするなど、家庭の負担軽減を求めます。子どもたちの育ちを守るためには校内別室登校をする児童・生徒も給食を食べることができるよう、学校への働きかけや支援員配置の予算拡充を求めます。

また、区内4カ所のマイスクールは居住地によっては通うのが難しいこともあり、距離や交通面での課題解消が必要です。例えば、区はAIオンデマンド交通の実証実験を予定していますが、そのような交通手段を通学支援にも活用するなどの検討が求められます。

不登校支援には家庭への支援も重要であり、学校や関係機関が保護者と連携し、不安に寄り添った対応を行うことが大切です。以上を踏まえ、以下要望します。

1. マイスクールへ通う児童・生徒へ給食費相当の補助や仕出し弁当提供等の代替支援を行うこと
2. 校内別室登校時にも給食が食べられるよう、支援員の配置時間を見直すこと
3. 生徒の通室や保護者の送迎時における交通面の支援を検討すること